

73 アビ

(アビ目)

Gavia stellata

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、オホーツク海沿岸、カムチャツカ、千島列島、サハリン、アラスカ、カナダ北部、グリーンランドなどで繁殖する。繁殖後は温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州の沿岸海域などで越冬する。外海や内海に生息し、稀に内湾、河口などで見られる。潜水して魚類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、佐渡、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、奄美諸島、沖縄諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海



写真提供：松重和太

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、加古川市、高砂市、南あわじ市、淡路市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○								

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に11-翌3月に記録がある。かつては個体数は少ないものの瀬戸内海に稀ではなかった。特に明石沖や加古川沖での記録が多い。近年は姫路市や西宮市、洲本市、南あわじ市の海岸近くでそれぞれ1羽程度が記録されている。海上での調査がされていないため、公表された記録は少なく、最近の記録は見当たらない。重油や化学物質の流出による被害で、海上の群れが大きな打撃を受けることがある。

保護上の留意点

生息海域の海洋環境の保全が重要。また、漁網やはえ縄などによる捕獲の被害に遭うことがあるので、地域によっては漁業者との調整が必要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。